

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2017 年 4 月 10 日

日本で暮らす最上の歓びを、あなたへ。

CENTURY *Primore*

プリモア



商品外観

- 100 年先の暮らしを見据え、ミサワホームの英知を結集した創立 50 周年記念商品
- 新構法「センチュリーモノコック」を開発・採用し業界最高水準の建物性能を実現
- 大開口設計としながらも ZEH 基準を大幅に上回る断熱性能を達成可能
- 重厚な外観、素材感と機能性を考慮したインテリアデザインを採用
- ヒートショック対策や室内空気質の改善に取り組み、住まい手の健康に配慮した住宅

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、木質系工業化住宅の最上位ブランド「CENTURY（センチュリー）」において、新構法「センチュリーモノコック」を採用することで、大開口設計としながらも ZEH 断熱基準を大幅に上回る断熱性能を実現する「CENTURY Primore（センチュリー プリモア）」を開発、創立 50 周年記念商品として 4 月 22 日（土）に全国（北海道・沖縄県を除く）で発売します。

ミサワホームの木質系工業化住宅に使われる「木質パネル接着工法」は、南極昭和基地の建物にも採用される高い断熱性・気密性・耐風性や、創業以来地震による倒壊ゼロ※1の実績に裏付けられた耐震性の高さなどが特長です。同工法では通常 90mm 厚の木質パネルを使用しますが、今回、南極昭和基地の居住棟にも用いられている 120mm 厚の壁パネルを採用し、さらに高耐力仕様を追加することで住まいの基本性能を向上させた新構法「センチュリーモノコック」を開発。今回の新商品「CENTURY Primore」に採用しました。

「CENTURY Primore」では、「快適」「安全」「健康」をテーマにそれぞれで高いレベルの暮らしを提案します。

■快適

高い構造強度と断熱性を誇るセンチュリーモノコックにより、最大約 5.4m 幅の大開口や約 3m の高天井を実現しながらも、住宅の断熱性能を表す U_A 値は 0.50 以下を容易に達成可能で、これは 4 地域以南での ZEH 断熱基準 0.60 を大きく上回る水準です。また、当社の平均的な ZEH 仕様の住宅に比べ開口比率を 2 倍にした場合でも U_A 値 0.60 を確保できる性能のため、開放感や設計自由度が大幅に向上しました。さらに微気候デザインを採用し、春や秋には冷暖房機器を極力使用せず、自然の光や風を上手に取り入れて心地よく暮らせるよう工夫しています。

■安全

120mm 厚の木質パネルや高耐力の接合技術を用いた強固な構造体により、耐震性能は当社通常仕様の約 1.3 倍に向上しています。住宅性能表示制度における最高等級の耐震性能を有しながら、約 5.4m 幅の大開口や約 3m の高天井など広々とした大空間設計が可能で、暮らし方や家族構成の変化への対応が容易なプランニングができるため、資産価値を維持しやすく将来の住み替えの際などにも安心です。なお、ミサワホームの住宅は、建物の構造躯体と内装・設備を分けて住まいの価値を正しく評価する「スムストック査定」にも対応しています。

■健康

「CENTURY Primore」では、昼間の日射や暖房による熱を蓄えて夜間に放出する「蓄熱床」を新たに採用。「蓄熱仕様」の LDK では、冬季の早朝でも、住宅建築基準が厳しい英国で定められている※2最低推奨室温の 18℃を保持可能※3で、ヒートショックのリスクを低減します。また、室内空気質の改善にも取り組んでおり、壁や天井に化学物質を吸収・分解する高機能石膏ボードを採用することで化学物質※4の室内濃度が厚生労働省指針値の 1/3 以下になることを実証しました※5。さらに、室内の熱中症リスクをお知らせする機能や、外出先からエアコンを遠隔操作する機能などを持つ、IoT を活用したライフサービス「LinkGates（リンクゲイツ）」も開発・搭載し、健康な生活をサポートします。

ミサワホームは、「CENTURY Primore」を快適・安全・健康に配慮した“未来基準”の住宅と位置づけ、100 年先も住み継がれる住まいとして提案していく考えです。

※1：地盤に起因する被害、地震に伴う津波や火災による被害は除く

※2：英国保健省イングランド公衆衛生庁「イングランド防寒計画（Cold Weather Plan for England）2015.10」

※3：気象条件：東京／計算モデル：当社モデルプランにて算出／暖房時間：7～14 時、16～24 時／内部発熱：住宅事業建築主の判断基準に基づく／評価対象室温：月別日最低室温平均値（朝 7 時起床時の室温）

※4：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼンの5物質

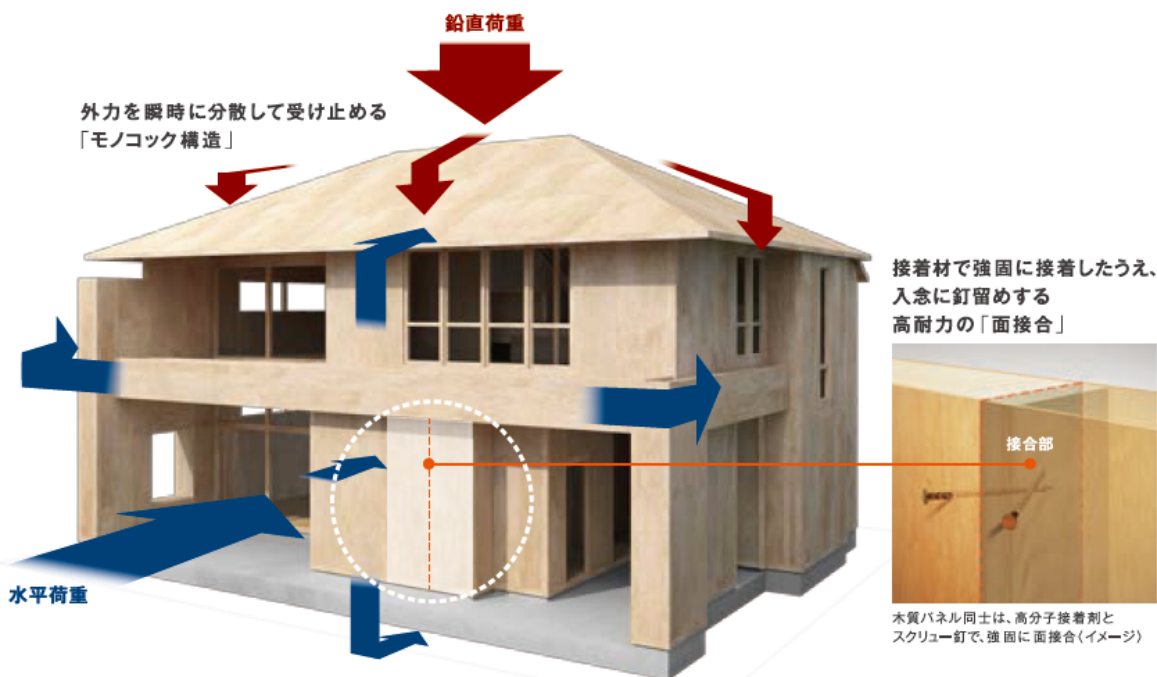
※5：2016年度、実物件における測定にて実証。諸条件により異なるため保証値ではありません。

■「木質パネル接着工法」

1967年の創立以来、ミサワホームが主力工法と位置付けているオリジナル工法です。最低気温マイナス45℃、最大瞬間風速60m/sの苛酷な気象条件下にある南極昭和基地の建物にも数多く採用されている高い断熱性・気密性・耐風性や、創業以来地震による倒壊ゼロ※1という実績に裏づけされた耐震性の高さなどに定評があります。

木質パネル接着工法は、枠材と面材を強固に接着して強度を高めた木質パネル同士を高分子接着剤で強固に「面接合」、さらにスクリー釘や接合金物で入念に接合し、床面・壁面・屋根面からなる6面体を形成する「モノコック構造」です。さまざまな外力が構造の一点に集中せず、建物の“面”全体に分散してバランスよく受け止めることで高い強度を確保します。木質パネルの接合部に使用している高分子接着剤は、わずかな接着面※6で約2トンの自動車を吊り上げられる接着強度を誇ります。もちろん、ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンといった、厚生労働省指針値が定められている揮発性有機化合物（VOC）は含まれておらず安心です。

※6：接着面を162cm²（9cm×9cm×2面）とした乗用車の吊り上げ実験を実施



木質パネル接着工法の構造イメージ

■新構法「センチュリーモノコック」

「センチュリーモノコック」は、120mm厚の壁パネルを使用し、木質パネル同士の接合部や構造体と基礎の接合部を強化した高耐力仕様を標準採用した構法です。さらに、高耐力のLVL材の梁を組み合わせることで構造上の余力を十分に確保し、約5.4m幅の大開口や約3mの高天井といった大空間設計を可能にしています。また、断熱性を高めるために壁を厚くすると、その分だけ室内の有効居住面積が狭くなりがちですが、センチュリーモノコックでは壁厚の増加を極力抑えながらも高断熱を実現しているため、有効居住面積を大きく損なうことはありません。壁厚を抑えたことによって、都市部をはじめとした敷地が限られた地域で土地を有効に活用することも可能です。

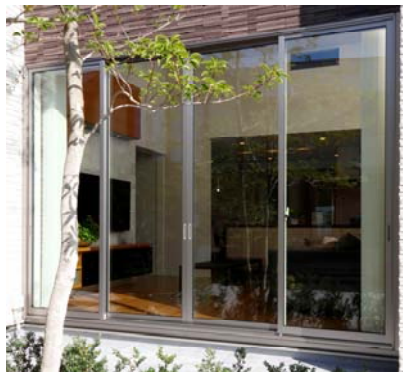
■ 商品名「CENTURY Primore」の由来

「Primore」は「prime（最良の、極上の）」と「more（より、もっと）」を組み合わせた造語です。新構法「センチュリーモノコック」を採用することで当社の木質系工業化住宅史上、最高の構造耐力と断熱性を確保。より高いレベルで「安全」「快適」「健康」を実現しています。また、構造耐力の向上によって、これまで以上の広く美しい空間デザインも可能になりました。ミサワホームの木質系最上位ブランド「CENTURY」において、100年先を見据えた次世代基準の住まいを目指します。

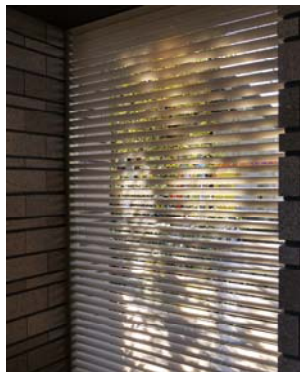
■ 商品特長

・標準仕様で ZEH 基準を大きく上回る断熱性能を実現

新構法「センチュリーモノコック」に玄関土間断熱「サーモ DOMA フロア」やオリジナル高断熱サッシ「AZ サッシ」を組み合わせれば U_A 値を 0.50 以下とすることができ、4 地域以南の ZEH 断熱基準である U_A 値 0.60 を上回ります。さらに仕様・設備やプランを工夫することで、最も厳しい北海道地域（1、2 地域）の ZEH 断熱基準である U_A 値 0.40 も達成可能です。一方で夏場の室内の快適性にも配慮しており、室外に設置したルーバーに水を流して室内に涼風を取り込む「クールルーバー」や、トップライト・シーリングファン・エアコンを自動制御する「涼風制御システム」、換気塔による小屋裏の排熱など、独自の微気候デザインの思想も取り入れています。



高断熱「AZ サッシ」 



クールルーバー



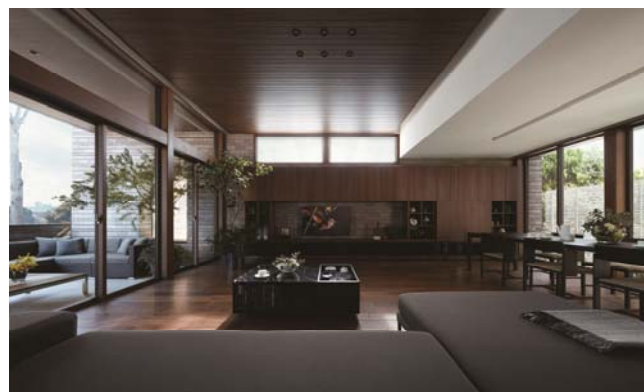
換気塔

・耐震性能が大幅に向上

木質パネル同士の接合には、業界最高水準の強度を誇る「高分子接着剤」と、一般的な丸釘のおよそ 2 倍の引き抜き耐力を持つ「スクリュー釘」を組み合わせ使用しています。さらに高耐力の LVL 材の梁の採用や、基礎と構造体の接合部分の強化によって、耐震性能は通常仕様に比べて約 1.3 倍に向上しています。これにより、住宅性能表示制度における最高等級の耐震性能を確保しながらも約 5.4m 幅の大開口や約 3m の高天井といった開放感のある大空間設計が可能になりました。



高耐力の LVL 梁



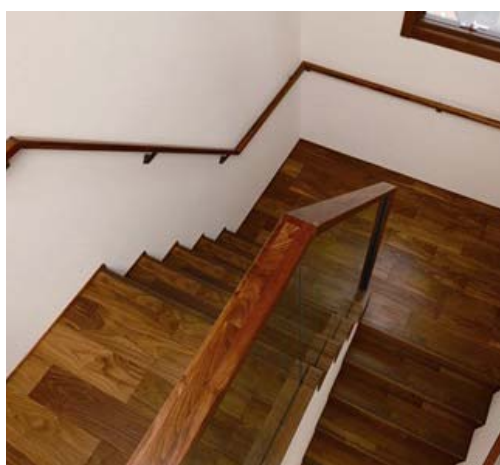
開放感のある大開口・大空間設計

・快適で、資産価値を維持する上質なデザイン

将来にわたり快適で、資産価値を維持する住まいのため、デザインにもこだわっています。「CENTURY Primore」では、建物の水平ラインを基調としたデザインと、深い軒や外壁タイルによって作り出された陰影が落ち着きと重厚感のある美しいファサードを形成しています。また、外とつながる大開口を設けることで重厚感がありながらも開放的な設計としました。軒天は、室内側のリビング天井材と連続した木目柄の仕上がりとしたほか、リビングには約 3m の高天井とハイサッシを採用することで室内外の一体感を感じさせる工夫を施しています。インテリアには、天然木の風合いと機能性を両立する突板建具や挽板フローリング、木製手すりといったアイテムを採用し、いつまでも飽きのこない快適な室内空間を目指しました。高さや奥行きを自由に設定できる本棚やテーブル、造り付けカウンターなどの自社生産のアイテムも多数用意し、インテリアの統一感を醸成しています。



突板建具



突板階段と木製手すり

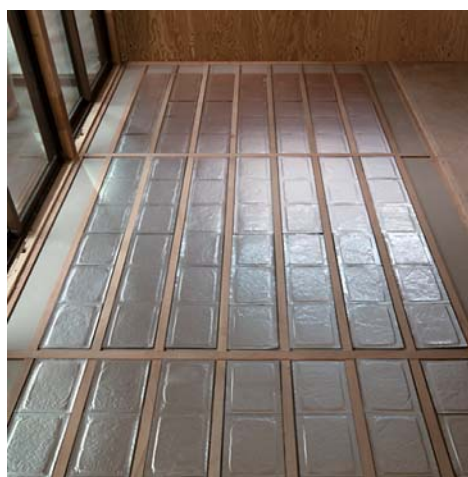


高さ 4m 超まで対応可能な本棚

・健康に配慮した住宅

住まい手が安心して健康に暮らせる住宅提案は、生活の質の向上や社会保障費の削減にもつながることが期待され、近年注目が集まっています。英国保健省の指針では、室内最低温度を 18℃以上に保つことでヒートショックのリスクを和らげることができるとしています。

「CENTURY Primore」では、冬でも心地よく健康的な生活を送るため潜熱蓄熱材を組み込んだ蓄熱床を新たに採用。昼間の日射や暖房による熱を蓄え、夜間に放熱することで、冬季の早朝でも LDK の室温を 18℃以上に保持することが可能です※3。



床下に設置された蓄熱床

※3 ・気象条件：東京

- ・計算モデル：当社モデルプランにて算出
- ・暖房時間：7～14 時、16～24 時
- ・内部発熱：住宅事業建築主の判断基準に基づく
- ・評価対象室温：月別日最低室温平均値
(朝 7 時起床時の室温)

「CENTURY Primore」では室内空気質の改善にも取り組みました。ホルムアルデヒドを吸収・分解する高機能石膏ボードを採用することによって、化学物質の室内濃度について業界最高水準となる「厚生労働省指針値の 1/3 以下」を実証しました^{※5}。

さらに今回開発・導入した IoT を活用したライフサービス「LinkGates」が、センサー技術などを活用して生活データを蓄積・分析し、省エネ・安全・安心・快適な生活をワンストップで提供します。「LinkGates」には電気・ガス・水道の使用量の見える化機能にとどまらず、室内温度・湿度を測定し熱中症の危険をお知らせする熱中症アラートや、外出先からエアコンや電動シャッターなどを遠隔操作できる機能などを搭載し、日々の健康な暮らしをサポートします。

■商品概要

商 品 名：CENTURY Primore（センチュリー プリモア）

構造・工法：センチュリーモノコック・木質パネル接着工法

設 計：システムフリー設計

販売エリア：全国（北海道・沖縄県を除く）

発 売 日：2017 年 4 月 22 日（土）

販 売 目 標：CENTURY ブランド全体で 1,000 棟（2019 年度目標）

商品サイト：http://www.misawa.co.jp/kodate/syouhin/century_primore/

新構法「センチュリーモノコック」紹介サイト

http://www.misawa.co.jp/century_monocoque/

以 上

＊この件に関するお問い合わせ先＊

ミサワホーム(株) 経営企画部コーポレートコミュニケーション課

中田義規 宮田智

TEL：03-3349-8088／FAX：03-5381-7838

E-mail：Satoshi_Miyata@home.misawa.co.jp

リビング／フォーマルダイニング

約3mの高天井や壁一面の大開口、南北の抜けなど、今までにない開放感を演出したくつろぎ空間。大切なゲストをもてなすパーティの場にもなります。

アウトドアリビング

住まいのウチとソトの魅力を併せ持ち、自然を肌で感じられる快適な半屋外の軒下空間。窓を開けてLDKと連続の一体空間としても活用できます。

フィッティングルーム

ご夫婦のウォークインクローゼットに加えて、多彩な収納も備え、楽しみながらドレスアップできます。水廻りにも直結する身支度しやすい動線です。

主寝室

勾配天井が大きなゆとりを感じさせる主寝室。軒の深いバルコニーへとつながる大きな開口が開放感を演出し、心地よい朝の目覚めをもたらします。

キッチン／カジュアルダイニング

キッチンと一体の食卓で、ご家族や友人と料理をしながら交流を深められます。ティータイムなども気軽に楽しめる、使い勝手のよいスペースです。

玄関／シューズクローク

ゆとりのあるシューズクロークは、靴はもちろんアウトドア用品などもまとめてしまえ、玄関廻りをいつでもすっきりと心地の良い空間に保ちます。

リンクハブ

アウトドアリビングと連続した居心地のよい土間空間。人びとがしげんと集まり、友人との語らいの場や趣味の教室などとして自由に活用できます。

ウォーターリビング

日々の疲れを癒すやすらぎの空間。入浴後のひとときを過ごしたり、ヨガやフィットネスのスペースとして活用したりと、健康的な暮らしを支えます。

大収納空間「蔵」

衣類や日用品、季節家電など何でもしまえる大収納で、居室はいつでもすっきり広びろ。備蓄品などを備えておけば、もしもの災害時にも安心です。

アーカイブ

書斎やご家族の思い出の品をディスプレイできる部屋などとして、自由に活用できるスキップ空間。階下のウォーターリビングともつながっています。

子ども部屋

お子様の成長とともに用途が変化していく空間。小さな頃はワンルームの遊び場として、成長に伴って2部屋に間仕切れば、個別にも活用できます。

建築面積 142 m²／1階床面積 116 m²／2階床面積 126 m²／延床面積 243 m²

※蔵及びロフト面積は含みません。 ※2階床面積にはインナーバルコニーを含みます。